

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校、 株式会社VOLTMINDとAI分野を中心とする包括連携協定を締結

**小中学生へのAIモラル教育、学生向け実践教育、県内企業とのAI活用支援を通じ、
岩手におけるAI人材育成と地域産業の発展を目指す**

学校法人龍澤学館 MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校(岩手県盛岡市、校長:小林 史朗、以下「本校」)は、2026年9月1日、株式会社VOLTMIND(本社:大阪府大阪市、代表取締役:北森 聖士)とAI分野を中心とする包括連携協定を締結しました。

本協定は、両者が有する人的・知的資源を相互に活用し、AIをはじめとする先端技術に関する教育、研究、実践、地域連携を推進することにより、岩手におけるAI人材の育成ならびに教育・産業の発展に寄与することを目的としています。

今後、本校は連携先とともに、小中学生から高校生、専門学校生、社会人、県内企業までを視野に入れ、それぞれの学習段階・成長段階・実践段階に応じたAI教育プログラムの開発・実施を検討してまいります。

小学生・中学生向けには、生成AIをはじめとするAI技術と安全に向き合うためのAIモラル・AIリテラシー教育を中心に、情報の真偽を見極める力、個人情報や著作権への理解、AIに頼りすぎず自分で考える姿勢を育む取り組みを進めます。

高校生向けには、探究学習や地域課題の発見・解決にAIを活用する機会を提供し、AIを単なる便利なツールとしてではなく、自ら問いを立て、情報を整理し、社会とつながる学びの手段として活用する力を育む取り組みを検討します。

専門学校生向けには、生成AI、データ活用、アプリケーション開発、業務改善など、より実践的なAI活用スキルの習得を目指します。また、岩手県内企業が抱える課題をテーマとしたAIハッカソンや共同プロジェクト、実証実験等を通じて、学生が地域企業と連携しながら実践的に学ぶ機会の創出を検討します。

株式会社VOLTMINDには東北出身の社員が在籍しており、東北への強い思いと、地域企業や教育現場にAIを広めたいという考えも、本連携の背景にあります。奄美大島などでのAI普及の取り組みや岩手県内での業務実績を踏まえ、岩手を東北におけるAI普及の拠点の一つとして位置づけ、企業・教育機関・行政等との連携を広げていくことを目指します。同社は、地域のAI活用ニーズの把握と実証を通じて、業務改善、生成AI活用、PoC(概念実証)、導入伴走等を含む企業向けAI導入支援サービスの共同開発・展開を検討し、岩手を起点とする東北での事業展開とAI活用市場の創出・拡大につなげることを目指します。

本校は、地域に根ざした専門教育機関として、AI時代に対応できる人材育成を推進するとともに、県内企業や教育機関との連携を通じて、岩手の未来を担う人材の育成に取り組んでまいります。

今後検討する主な取り組み

- 小中学生を対象としたAIモラル・AIリテラシー教育
- 高校生を対象としたAI体験授業、探究学習、地域課題の発見・解決に関する取り組み
- 専門学校生を対象とした生成AI、データ活用、アプリ開発等の実践教育
- 岩手県内企業の課題をテーマとしたAIハッカソンの開催
- 学生と企業が連携するAI活用プロジェクト、実証実験の実施

- 教職員、社会人、県内企業向けのAI研修・ワークショップ
- 地域企業・行政等と連携したAI導入、DX推進に関する取り組み
- AI時代に対応した教材、教育プログラム、コンテンツおよび企業向けAI導入支援サービスの共同開発

代表コメント

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 校長 小林 史朗

「AIを学ぶうえで最も大切なのは、技術そのものを身につけることだけではなく、「何のために使うのか」を考える力だと思っています。本校では、実務で通用する技術力と、それを支える人間力の両方を育てることを大切にまいりました。

一方、岩手の県内企業の皆さまからは、「AIを活用したいが、何から始めればよいかわからない」という声を数多く伺っています。そうした声に触れる中で、教育機関が企業と学生をつなぎ、地域におけるAI活用を支えていく役割を担う必要性を強く感じてまいりました。

VOLTMIND様は、エンジニア自らが顧客の現場に入り込み、課題に向き合いながら実績を重ねてこられました。また、都市部に限らず、地方企業にも同じ熱量で向き合っておられます。本県にも取引先をお持ちで、地方企業が抱える課題を実感として理解されている皆さまと一緒できることを、大変心強く思っています。

今回の連携を通じて、学生が実践的にAIを学ぶだけでなく、その学びが地域企業の課題解決にもつながっていくことを期待しています。学生が地域で学び、地域とともに成長し、地域で活躍する。そうした循環を、岩手からつくってまいります。」

株式会社VOLTMIND 代表取締役 北森 聖士

「この度、MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校様と包括連携協定を締結できたことを、大変光栄に思います。龍澤理事長、小林校長をはじめ、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

同校が、地域企業との連携を通じて、学生が学んだ知識や技術を実社会で生かせる機会を数多く創出されていることに、深く共感しております。AIを通じて学びの可能性をさらに広げ、地域の発展に向けた取り組みをともに進められることを、大変嬉しく思います。

当社は、エンジニアが顧客の現場に入り込み、業務を深く理解したうえで課題解決に取り組むFDE体制を強みとしてまいりました。今回の連携を通じて、これまで培ってきた知見を教育現場に還元し、子どもたちから学生、地域で働く方々まで、AIを学び、活用できる機会を広げていきたいと考えています。また、地域企業それぞれが抱える課題にも丁寧に向き合い、AIの実践的な活用を後押しすることで、岩手県における人材育成と地域産業の発展に貢献してまいります。」

MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校について

運営法人: 学校法人龍澤学館

所在地: 岩手県盛岡市中央通三丁目2番17号

代表者: 理事長 龍澤 尚孝

校長: 小林 史朗

事業内容: 情報工学・情報ビジネス・デザイン分野における専門教育

URL: <https://morijyobi.ac.jp/>

株式会社VOLTMINDについて

株式会社VOLTMINDは「最先端技術で、人生の体験価値を根底から向上させる」というミッションを掲げ、AI×Sierの領域で、レガシーシステムの刷新をはじめとする案件に取り組むスタートアップです。顧客現場に入り込んで開発するエンジニアによるFDE体制と自社R&D（研究開発）部門を備え、自社独自プラットフォーム「VOLTMIND FDE Platform」を活用した企業のDX推進や、ハッカソン・技術コミュニティを通じた人材の発掘・育成に取り組んでいます。

大阪本社：大阪府大阪市中央区安土町3丁目5-13 WeWork 本町ミッドキューブ 12F

東京支社：東京都渋谷区恵比寿1丁目19番19号 恵比寿ビジネスタワー ビジネスエアポート恵比寿 10F

設立：2024年2月14日

代表者：代表取締役 北森 聖士

事業内容：FDE／AIシステム開発／基幹システム開発・刷新／ハッカソン／データセンター・インフラ構築／AI特化型SES／マーケティング支援

URL：<https://voltmind.jp/>

本件に関するお問い合わせ先 MCL盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

担当者名：畠山

電話番号：019-622-1500

メールアドレス：satou@morijyobi.ac.jp